

発行所 上田高等学校同窓会関東支部事務局 発行責任者 島田次郎 編集責任者 花岡 埼玉県川口市芝木町2-11-6 大島洋工務内 電話 0482-53-2962(代表)

5月25日

(金曜日)

1973

季刊

題字は稲垣恒夫氏筆

きんだ

社団法人 上田高等学校同窓会 関東支部会報

(1) 定価・一部30円



大森委員長

大会の定時総会、そして親睦懇親の関東支部大会も、迎えて第十二年目となりました。

大会準備委員長を

お引受けして

副支部長(23) 大森 頼雄

先般四月の幹事会におきまして、今回の大会準備委員長にお引き受けいただきました。お引き受けの任に任じられたこと、当日の大会をより一層、楽しく愉快に運営致し

先般四月の幹事会におきまして、今回の大会準備委員長にお引き受けいただきました。お引き受けの任に任じられたこと、当日の大会をより一層、楽しく愉快に運営致し

第十二回 関東支部大会開催

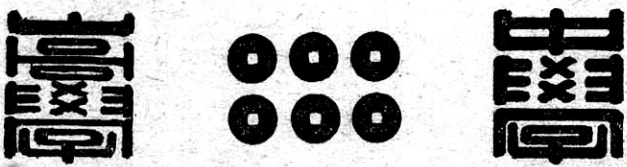
6月26日午後5時

第十二回大会の 盛會を期待して

巡り、四十八年の初夏が来た。本会の関東支部大会も第十二回をむかえんとしている多病卒業の同窓会をそれぞれに盛んにもあるが、大会となるといふ出足もふりかちのキラキラなものでない。しかし、一嘗に相会した全同窓生のルツボは静かに、大会ならではの雰囲気も味あつてほしい。年一回の上田高等学校同窓会、関東支部のお祭りである。先輩後輩の親睦の宴、集い相会し、鳥帽子、大団の山々を想い起こして、一夕の宴に、喧嘩の都会生活から、千曲の清流を回想したのも、関東支部に激して、来る六月二十六日の第十二回支部大会を盛會ならめたいと願う次第である。

大会の盛り上りを!

本春、定年御退職になられた多敷お引き、明るく楽しい今大会とした。 一昨年は、関東支部会員の約二千名であったが、昨年正月、全同窓生名簿の完成を、これにより調べると関東地区在住の本



昨年の盛大な大会風景

本春、定年御退職になられた多敷お引き、明るく楽しい今大会とした。 一昨年は、関東支部会員の約二千名であったが、昨年正月、全同窓生名簿の完成を、これにより調べると関東地区在住の本

大会準備委員

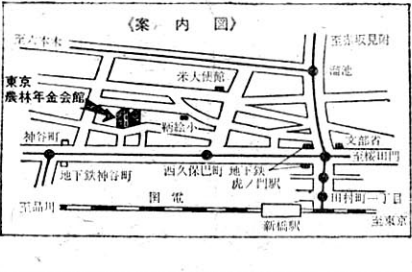
- 準備委員長 大森頼雄 副委員長 須田武久 副委員長 須田武久 副委員長 須田武久...

上田高等学校同窓会 関東支部第十二回大会

一、日時 六月二十六日(火)午後五時受付開始 六時開会
二、会場 東京農林年金会館
三、会費 一人一円
四、交通 地下鉄日比谷線「神谷町下車二分」
五、案内 電話(02)7261-71(代表)

大会次第

- 第一部 定期総会 (正六時開会) 司会 副幹事長 野 副支部長 大 森 野 二、校歌 奏 抄 三、挨拶 四、会務報告・事業計画 五、会計報告 六、会計監査報告 七、質疑応答 八、第一部閉会



記念品贈呈 大会出席者へ、おなじみの校章と文金を贈呈いたします。

記念品贈呈

信州極味 山吹 信州味噌株式会社

卸任完了

新幹事推薦に 本会の会則に基づき現幹事委員の任期は明年(四十九年)三月三十一日付をもって完了する

皆様のサロンです お気軽にご利用下さい 結婚式・宴会・宿泊 信濃路 国際 八峰閣 ホテル

東京農林年金会館 憩 幸 宴 話

在京啓明会の再発足

五月八日新宿で開催

(31) 土屋 学

同じ町、同じ依田塾生れ育つ。墨霧の空の下で活躍して居る諸君と相別れてから、十年、二十年して居るやに聞く、何年前迄存在したのか知る由もない、淋しき限り、昔の啓明会であった我々は、膨大な同窓会と又異った、ムードで親近感の強い懐かしさで相違ふ日を羨しみに待つて居たのである。

たまたま小林郷司君、上野敏男君、成沢祐介君、清水義幸君等の掛声と努力に依つて在京啓明会の発足をみる事が出来た。

私は知らなかつたのであるが約十年前に第一回を新宿の美華会館で、翌年第二回を青山の焼鳥屋で、そして第三回は品川の京浜ホテルで相集ひ盛会でありしに聞く、其の後絶えて久しく今日に至つたのである、所謂再発足したことに成る。

(在京(近県を含む)啓明会員は100名を越え各界各分野で活躍して居るのである。

五月八日新宿西口小田急デパートスカイタワー風雨楼で同じ丸鉄で丸鉄から通学した私と同期の矢野敏正氏(42期)の絵



なつかしい丸子町駅風景

七才の御高令、教え子の峰村先輩方も既に七才前後になつて居る。

(27) 小木曾 進君が、現大和銀行顧問であられる(20) 峰村英彦先輩の訪問記事掲載してくだつた。

会員諸氏にも御記憶があられることと思つた。

この峰村先輩の同窓第二期は、すばらしい団結と友情に結ばれて居る。厚く「はたち」会と称して御寄稿も賜り編纂部も深くお喜びして居る次第である。

峰村先輩の御同期の吉井道教本会監査役から送られてきた。

題して「桐生の秋」と申され、腕白時代の上田中学時代の恩師、北村友幸先生を同期生でお訪ねされたとき降られた歌のことである、恩師は既に九十

「桐生の秋」

(20) 峯村 英彦

昭和四十七年十月二十一日、恩師北村友幸先生を訪問す。年のむかし信州上田中学時代の陛下で渡歐に国旗を立てて祝して無窮(註・先生の号)先生を感ずる。

九十七歳のお母の手にて教へておられるお母のたまふ、自筆もて太字のおん名けのため掲げたまへり秋の坂みち少年期の抵抗のみが思い出の恩師がまじりちちくを食む日即脚接人相の字をたまふ書斎はいまも数学書の山坂の上より見送りたまふ師の姿を懐かしむわかれしぬ本校の一表徴としての縁(ゆか

四十二期浅野敏正君が五年生のとき書いた丸子町の風景画は貴重なもので万感胸に迫るものがある。同君の好意によりこの写真を載せては、同君の好意を感ずる。

九月の盆に花(秋の七草)を前夜の夜市に出して売つた金で「たい」を買い小学校(現在の中央小学校)脇の明神様の庭に集つて食ふべ勢を挙げ、毎土曜日には必ず全員が小学校集り、テニス、野球、サッカー等をして学生らしい健康造りに励み、楽しかつた事など回想し、又電車の中で前部が中学生、後部が女学生と言つて話らずの中に決つて居る(風紀上らしい)に、この上級生はなるべく境目に乗つてハイヤー(下田高女)に接近して下級生をばはらさせ、大事な事なさい語りはばはらさなかつた。

来賓矢島君からは敬助の祝辞を貰ひお聴きした。

陸上競技部員の集い

「陸文会」報告記

現母校教諭(33) 矢島 豪

本校は任中に陸上競技部を活躍した諸君が母校を頼り、陸文会をつくり、現役員を助ました。

つづ、会費少額納入の中から多少なりとも経費援助しながら、年々交歓を重ねていくことの趣旨から昭和三十八年に再発足したものである。

過去に陸上競技部の後援会は戦後短期には一回も発足しては断ち切られたが、今年で十二年目を迎えている。競技の成績も近年大活躍で昨年は東信、東北信、五県と総合優勝を重ね、インターハイにも八名の選手が出場するなど、本会のバックアップが現役員君を鼓舞させており、伝統の重みを感じます。

陸文会なる名称は三十九年二月例会にきまつた。(31) 矢島五郎氏からの発議あり、集つた皆の意見集約の結果あられたもの。陸上競技の陸と、諸先輩いらひ競技出場に真田精神で戦意を燃やしたいわは運動部員の精神的支柱であり本校の一表徴としての縁(ゆか

関東支部における「陸文会」

その初会合について

(31) 矢島 五郎

前文の如く、現母校教諭である(33) 矢島豪先生の詳述にあるように陸上競技部員の会合「陸文会」なる会合がある。

毎年二月に同窓会館内で開催されてきた、関東地区からも都高のつづOB連も出席し、在任選手諸君とも相討つ機会がある。

若き日の感動もあふむ。

その事務局として矢島豪先生が細部にわたつて、いつも御配慮下さつて居る。私も都高つづかきりその会合には出席してきたが、今回関東における会合をまとめてほしいと決議され、いつの間にか

松尾税友会

第二回総会開く

(58) 赤池 三男

三月十八日夕、東京都港区の東京農林年金会館で、松尾税友会第二回総会が開かれた。

次いで、来賓の矢島五郎関東支部幹事長が、かの筆をばり上げて祝辞と出席の感想を述べ、会場の盛り上げた。

恒例の乾杯に入るや、会は果敢と活気あふ、参加者が順に立ち上り挨拶。近況を述べ、歌う者、演説者、打ちあける者、完全野党ベースの現況と執行行を得、演説として批判したり提案する者等があり、総じて健全で愉快な集りであった。

大会社へ勤める二社員が、その社長に対するのと同じように、大蔵省の出先機関に勤める税務職員が税務局長はおろか、国税局長と経費削減、「税金に対する認識」と民主的な徴税」等の講話ではじまり、会長の大所高所からの高邁むしる感であるといつて、と

子の後任に(22) 滝沢信男、副は(23) 小池茂と新たに(47) 矢島武、関東支部を設けてその長に(31) 矢島五郎、幹事に(36) 神野勝男と、本部幹事に(60) 白鳥隆夫と新たに(62) 羽田健一郎と以上の各氏が編成された。若手を抜き、部員の意欲が実現したものである。

陸上出身という資格のある在京同窓諸君にも、奮つて本会へのご愛顧をお願いして、(五月十五日 東信大会の日) 入して御連絡下さい。

在学当時、自己の専門科目も記入して御連絡下さい。

名簿を作成して、本年九月下旬に、関東陸文会と連絡して、その初会合を開催したいと思つて居ます。

陸上競技部員のOB諸氏の御参集を期待して居ます。

予告

「関東陸文会」初会合。
一、期日、本年九月
一、名簿作成のため元部員諸氏の御連絡を期待
一、在学当時の専門科目も記された上、あらためて連絡。

ところが松尾税友会員にとってはそれが夢ではないのである。上田高校同窓会生ならであらう。そして、そんな集まりが「松尾税友会」なのである。

この会は、一昨年に発足し同時に第一回総会を開催した。会員は上田高校出身者で、かつ現職の税務職員、元税務職員、税理士、公認会計士等、税の関与者で、会員数約百人からなる全国的な大組織である。会長は関西財界の行政の中心として指揮する36期丸山英人氏(大阪国税局長、元丸山英人氏大阪国税局長、元丸山英人氏大阪国税局長、元丸山英人氏大阪国税局長)は、上田高校同窓会の組織組織中ではもっともインテリ、かつアカデミックな集団である(と会員は自信している)。

会長の終りに際して、40期小林郷司氏(公認会計士)が「当会も第二回目の総会を迎え、いよいよ充実してきた。さらに会費を盛り上げるために、近々、会員による関西方面への視察旅行を執行しよう」と提案。満場一致の賛同を得、早やばと多数の参加申し出があつた次第である。

(国税庁総務課勤務)

コンピューター財務会計

石木 林 事務所

税務士 石木 林 (旧姓上平・40回)

事務所 渋谷区渋谷3-18-2 (カネイチビル) TEL 409-3721 (代) (上田市長島出身)

熊川法律事務所

弁護士 熊川 次男 (48回)

前橋市大手町2-2-1 TEL 0272-21-1191

T.K.C東都計算センター

堀内 事務所

税務士 堀内 茂雄 (44回)
堀内 良幸 (55回)
半田 嘉道 (55回)

東京都墨田区業平4-9-3 TEL (325) 2291 (代) (出身地 小県郡真田町)

生活をいろいろ刺しゅう製品

サンエーシユウ 株式会社

社長 永井 洋司 (51回)

本社 川崎市多摩区生田8167-4 TEL 044-37-5851
工場 上田市上田原 531-14 TEL 02682-2-3662

同期会の集い

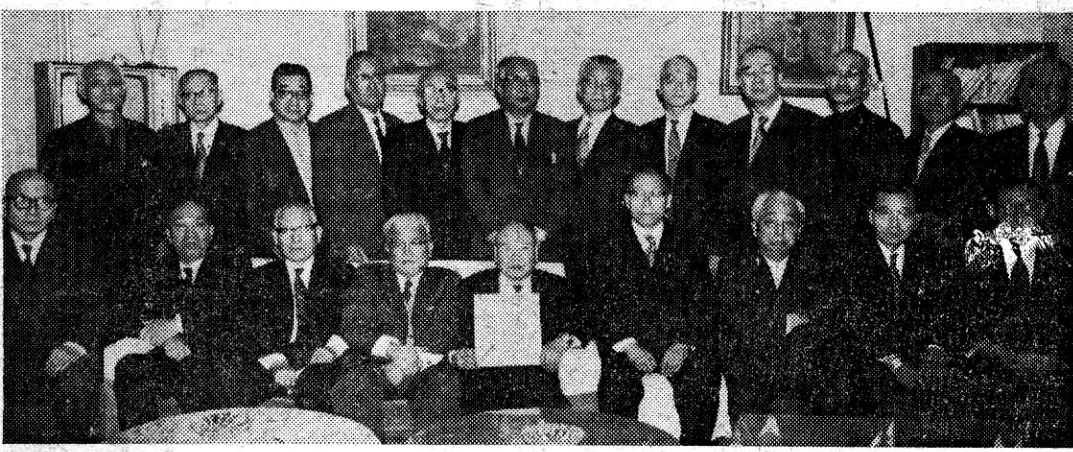
異色の上中会

十五周年を迎えて

(22) 横田 栄一郎

都内(住吉)中卒業の有志二十四名で結成している上中会が、この間(各務)以来十五周年を迎えた。あらためて祝賀の意があるとは思われないが、いつか十五年という年月の重みというものが引かれ、毎月の集いは、一桁上廻った会費と一際明るい会場とを伴って、月の例会は催された。特にこれという話題が出たわけではなかったが、九〇%という未曽有の出席率から会場には、互に交わす気持が醸し出された。互に交わす気持が醸し出された。互に交わす気持が醸し出された。

初めこの私案をひいて、先ず有楽町という究極の場所に診療所を開いている日に、更に三三に呼びかけたところ、一も二もなく賛意を表してくれた。早速第一期一年十二月、会員数十二名、掛金会費別二、〇〇〇円、落札は、引として会場は日の丸会館系会館ホールと決定した。会員十二名動員にあたっては、必ずしも中卒業という枠を設けることもあまいと考えたが、共通の友であること互に気心の通った者同士ということに絞ると、自ら上中関係者のみが相成る結果に成った。



上は同日集った人々、右は寄せ書

この会もその存在が漸々クローアップされて来たのはその頃であった。一躍会員数は二十四名に倍増され、時流もあつた、掛金も三〇〇〇円アップ。落札者二名片や入札や落札と大きく容れし今日及んで、増員十二名は概ね三期、二十四期の諸君



古いも若きも

五十周年クラス会

(23) 大森頼雄

桜はまき満開と、4月21日の午後、この別荘温泉別荘別荘、卒業後で50年という記念のクラス会とあって、お招きした依田誠生先生を加えて、集る者名をいまでもない多数、そしてまた今後もこれを越すことはないと思われる盛会であった。クラス会は懐かしい顔を見ることが何よりも喜び、そして目的の大半はそれ尽きるものと思っている。

どうか、今宵も遠く島、転居のしついで、最後にかくも目出度く永為の会を離れた世木茂君の訃がもたらされた。銀髪白眉の深き眼を秘めた君のあたたかさは、最良の接し方、行動力とをあわせ持つつまで、続くであろう。後継者期待

在京25期のクラス会

(25) 馬場 長市

去る三月二十日、西五反田東京酒樓に於て、上中五期生クラス会を開催した。関係生九名中十一名の出席を得、開宴は、酒意ある一夜を語り合った。



一へり入ってしまつた。やがて席を立ちあげて話した。声は高くなるばかり、おみきの方もなかなか、しばしば語りかけ、思ひは馳せていたことであらう。途中全員起立で、松城城頭を歌ったことは、50年若返る。いつ戻るとも分らぬまことに、全員の一層の健康を祈つて万才三唱で、一応の締めくくりを話した。さらには、以上残つて話した。さらには、その半数は泊りであつて何時眠りについたら、夕方から降りだした雨は、よく降り続いていた。

三六会開催される

(36) 田中 六郎

去月二十一日(土)上中公園内の「富貴」に於て、三六会の合同の集いが催された。合同というのは「東京三六会」という東京近郊の在住者によるものと、いわゆる在郷者の「三六会」があるためであらうか。上中公園の集は、例年より早く、折角、東京から馳せ参じた諸君を、がっかりさせたが、三十名名の集いは、奮起をこまめに続いていた。

何時も必ず出席の宮入博君は、期末の金曜とて、都合が悪く欠席するが、皆様によろしくとの事。石井君は本社より社長が上京中とて都合がつかずやむを得ず欠席。出席の通知があつた石井正巳君は仕事都合がつかないとの事。かたがたに欠席となつた。鈴木孝君は最近身体調子が思わしくなく夜の外出を禁じられているので失礼するとの事。一、二の淋しさを覚えたが、一日も早くもとの健康を取り戻されるよう祈つて止まな

さて、東京酒樓で中国料理の円テーブルを囲み、中学時代の思い出話と長い人生路における各人の体験談を一人一人に述べて貰い、最後に、敬歌、凱歌、応援歌を合唱して若さを取り戻し、お互の健康と長寿を祈り、次回の会合で再び会う日を約してお開きとした。

医療・美容器具 製造販売 明光通商株式会社 代表取締役 堀内 惇 (48回)

本社 東京都文京区小石川2-1-1 TEL 215-5257

福岡営業所 福岡市南区 TEL 811-1509

清水薬局 清水 豊 (46回)

川崎営業所 川崎市 中原区 小杉町 東横線武蔵小杉駅下車 044-72-5639

自宅 川崎市 中原区 木月1-474 044-41-5995

杉並営業所 清水 卓 (48回)

杉並区 西荻南 3-18-15 (西荻窪) 333-6519 332-9442

富田税務会計事務所 税理士 富田 幸正 (48回)

東京都港区北青山2-10-26 TEL 403-7701

特許・実用新案・商標及び意匠に関する鑑定・出願・審判・登録申請 工業所有権に関する事項の代理

篠原向特許事務所 所長 篠原 泰司 (48回)

港区新橋5-19三陽ビル TEL 432-4576

共栄電子測器K・K 社長 半田 幸一 (48回)

本社 東京都湯島二丁目八番 電話(03)八二七四七九(代)

精密トルク計・バラシシングマシン ほか各種回転機用精密測定器

四十六年目の感激

分 袂 四十六星霜 再会 松下古塔里
懐旧交 蓋不知 更 暁光在窓 御堂鐘

——第二十六回卒業生(昭和二)年三月至同級会四十六周年記念
松尾城頭青風、昇る朝日の鳥
帽子山……と幾度も歌った。松尾
古城の門の学窓を眺めてからす
てに四十六星霜、頭髪まじりに白
毛を加えて、懐かしい戦前、戦中
戦後の三代にわたって、たまたま
も生き抜いてきたわが友が、友友
たちは、その後相違なくともなく
過ぎた。この四十六年、それは長
い年月のあゆみではあったが、し
かした、昨日のよう思えてな
らない。四十六年間に四十七名の
級友をくわはしたが、現在一
二名の友は全国各地に散らかり、今
尚元気を昔ながらのいさを吐露
している。

われらの同級会は、郷土曲川
のほとり、上山町の「三曲館」
主、松浦八郎君の厚意により毎年
通知はなとも一月二十日には、
千曲館に集ること
にして、すでに長
い間実施してき
た。その間この会
をこまめに大事に
育ててくれた松浦
弘一君、倉沢周平
君、竹内丈夫君、
小林邦人君、福井
清作君の五人の侍
の熱意には心から
敬意を表したいも
のだ。



四十六周年記念会
さて、昨年の同級会は、千教名を突破し新顔も多く見えた。この自然発生的な盛りあがりには「時・正・来り」の感を感じ、四十八年は母校の所在地、上山田で当番と会場をもち、日本列島をくまなく通知を

してはいたが、卒業生には大体の者とは席を同じくして、互に知っている者、懐かしい歌を歌いつづける者、応援歌に福井が馬鹿を唱え、お酌の美女が八人も来たが、友との再会の喜びに見向くも、このお酌の美女は、あなたたちが嫌いだわ」と美女に叱られる。
あの友、この友、みんないぬなつかにいぬ。その間を縫って、気骨隆々、極めて個性豊かな若者の恩顧の道徳が飛び出す。かかて六十才を越えた男たちが、その夜呑みほした酒は徳利の〇〇本。美酒は美女をのりこえて、懐か語り

たのしくなつかしく
30期会に出席して
(30)尾台 三吉
わが30期のクラスは約100名を越えていたが、卒業以来40余年を経過し、昭和初期自給自足の美少年も卒業以来40余年、孫も二、三人あ

お互が心身共に若返りゆく最良の機会であることを知る事が出来た。この意味で、我等は同級会の中から、これからも水続きされるであろう青春を見出す事が出来る。今も尚体内にある青春を掴むことができる。云々を止めよ、我等も老いたり。大叫せよ、我等に青春ありと。
四十六年目に会い、再び五色の旗をたなびかせた級友五十名は、その紅顔した面輪に足りも奪るべく、また来年も来るぞと口々に云いあつて、それぞれの家路へ向つた。四十六年目の感激を胸に抱いて。
(26)長尾 秀次記

新宿に集う獅子会
竹内敬太郎先生を囲んで
(44)清水 正司
「敬太郎先生どうしたんぞう。ラッ時代の気持に一気に戻つて、道に迷っているんぢやねえか。また。ある者は若おつむが薄く、ある者は白いものが目立って、おおい工藤君、竹内先生の前で先生であつた。

尾台 三吉
わが30期のクラスは約100名を越えていたが、卒業以来40余年を経過し、昭和初期自給自足の美少年も卒業以来40余年、孫も二、三人あ

30期大会の人々と下は寄せ書
竹内敬太郎先生、あの大変な体をユサユサとゆつて校舎の中に介して「お！おめえだつたかい」そして、二十八年前の十手カ

台三吉(文京区)、小野敏一郎(上野区)、波田野宗利(上田市)、原相模(川崎市)、原元志(上田市)、針塚正樹(沢川市)、細田公紀(上田市)、曲尾清(小金井市)、増沢知義(諏訪市)、松尾重喜(上越市高田)、峰村文人(小金井市)、宮本半次郎(大府市)、山崎忠雄(真田町)、山内敏夫(山崎町)、山崎正夫(上田市)、山崎通玄(上田市)、横山忠実(丸子町)以上46名。

尾台 三吉
わが30期のクラスは約100名を越えていたが、卒業以来40余年を経過し、昭和初期自給自足の美少年も卒業以来40余年、孫も二、三人あ

寄せ書
上高 30周年
竹内敬太郎先生、あの大変な体をユサユサとゆつて校舎の中に介して「お！おめえだつたかい」そして、二十八年前の十手カ

各種プラント並びに諸機械設備、設計監督、据付配線工事
三誠工業株式会社
会長 矢島美貞(24回) 社長 小林啓之介(48回)
本社 品川区北品川4-8-15 電話 445-1826(代)

合成樹脂・ダイキャストならびにプレス金型製造・付属する一般成形
兼万工業株式会社
社長 春日敦美(46回)
本社 上尾市西宮下30 TEL 0487-71-2117(代)

ビルの高級金属内外装
菊川工業株式会社
社長 宇津野和彦 常務取締役 牧内清(48回)
本社 墨田区菊川2-18-10 TEL 634-3231(代)

電子卓上計算機・電動加算機
ユニトレックスセールス株式会社
社長 高橋重年 取締役営業部長 山崎延秋(48回)
本社 新宿区荒木町14(栄光本社ビル) TEL 353-7201~7208

母校・籠球部の

全国 出場に對しての礼状

昭和四十八年三月二十九日東京
で行なわれた全国大会に出場した
籠球部のメンバーが多数応援され
たので、次のような礼状が寄せら
れました。

◇ ◇ ◇

優勝の旗、皆々様方には、御指導
御指導の御事と拝察申し上げます。
さて、この度の本校籠球部全国
大会出場に際しましては、一方な
らぬ御声援と御厚志を賜り、誠に
ありがたく、御礼申し上げます。

何卒、今後とも一層の御支援と
御指導を下さいますようお願い申
上げます。

上田高等学校長 柳沢 恒夫
昭和四十八年四月
上田高等学校PTA会長
御挨拶委員

熊川次郎君に對する 御支援に御礼

(48) 期幹事一同

昨年春の衆議院議員選挙に際し
ては、群馬県第一区から、自民党
第一次公認候補として立候補しま
した。我等が同期生熊川次郎君に
對し、同窓各位より多大の御支援
を頂き誠に有難うございました。
ここに紙上厚く御礼申し上げます。

彼は、早くから前橋市で弁護士
士を開業してありますが、四十六
年四月、周囲から無理矢理群馬
選挙区に立候補せられたり、
あまり戦はずして一三、〇〇〇票
の大差で最高得票者選ばれたら
した。

今回、同選挙区の大物代議士の
急死により、自民党本部、自民党
群馬県連から要請され、急遽立候
補の止むなきに至りました。
強固な地盤と組織をもつ現役代
議士と、全国的にも名の売れてい
る信望の厚い県医師会会長たる新人
等に向うに回して、全く準備な
しの選挙戦でございましたので、
我々は今回とても問題ならぬ
と思ひました。

ところが、同窓各位のかけなが
らの御支援も高まり、予想をはる
かに上回る票を頂き、ご承知のと
おり、もう一歩というところで惜
敗しました。

マミコミ関係者やいわゆる選挙
通の話では、「選挙期間がもう七
日あれば当選したろう」とか「立
候補準備がもう十日早ければ逆転
したろう」といわれています。
我々が申すのは若干身びいきか
もしれませんが、多くのの方々から
是非々々と推せんされる立派な人
物です。実に誠実、誠に几帳面な
者です。

同窓会の発展のためにも、今後
は、早くから前橋市で弁護士
士を開業してありますが、四十六
年四月、周囲から無理矢理群馬
選挙区に立候補せられたり、
あまり戦はずして一三、〇〇〇票
の大差で最高得票者選ばれたら
した。

同窓会本部 総会開催

上田高等学校同窓会昭和四十八
年度総会が来る五月二十七日開催
されるので、多数の方々の御出
席を願います。

一、日時 昭和四十八年五月二十
七日(日)午後一時
二、場所 上田高等学校同窓会館
一、映画(二時)、「四つ子の塔
の物語」(田中豊雄氏(36回)
の講演(二時)、「食害(食害
何を食べたら良いか」(食害害
東京医科大学大学教授 柳沢文
彦先生)

一、総会、議事

一、昭和四十七年度事業報告及
び決算承認の件
二、昭和四十八年度事業計画並び
に予算承認の件
三、同窓会奨学会決算承認の件
四、懇親会並びに祝賀会

総会終了後四時より会館ホ
ールに於て懇親会(会費五百円当
日持参)を開催し、併せて、職
二等旭日章を受賞された長
井盛至氏(18回) 職四等旭日
小紋章を受賞された坂井修一氏
(19回) 職五等旭日章を受
賞された西沢平重氏(17回)
の祝賀会を行います。懇親会
に御出席の方は、五月十八日ま
でに御連絡願います。電話の場
合は上田(2)三三四六番

多士済済(48)期

白田 誠人 東大農学部助
教授。専門は紙の研究。バルブを
はじめ日常のトイレットペーパー
など、私達の地味な研究の成果で
す。妻一人、子二人。文京区西片
一〇一五。

大角 栄一 日本火災工業
(足立区柳原一三五、電八八二
一三七七)勤務。住所：保谷市
ひばりヶ丘三四二二七。(電
四四一四六八四九)。武
蔵野散策の折に来訪。

小本 曾 誠 一昨年「くら
しの相談室」(共著)と「環境保
全と公害防止」(共著)を出版。
千葉市幕張一丁目七七一の三
へ新築転居。行政管理局行政監察
局長が本家。

川上 道輔 住所の埼玉東
わらび市中央四二二一三(電
〇四八四一三九五九三)。八
州(〇)しき 警察長にわらび上場
長。勤務管理その他業務の多い
毎日ですが元気で。

倉石 富一郎 総合食品の倉
石商店代表取締役。業務多忙をさ
らしてボリリングに熱中。倉石出
倉石雄雄代議士は一族。大田区東
横台一四一四一七(電七四一
一七八)。

倉島 保夫 みのへ郵政の
もとで海路・公函・海運など市広
い分野で活躍中。横浜で家族一同
元氣。(電四四八四一七二六
七)勤務先：東京第一建設事務所
電話(四三三四〇七九)。

後藤(滝沢)正一 後藤製
作所(〇)四八八八五三三四
(〇)鷺野、理化学、繊維関係員
の製作・販売。公害防止関係で多
忙。

小林 芳彦 三和信用金庫
徳見支店長。(電九三四四二二
一)中小企業金融のメダリスト。娘
も早や高3。たまたまサッカーは現
役並。五月に訪日。上田高校現
役チームの一戦で活躍。

酒井 良知 日本社会党中
央本部国民生活部長。公害、物価
問題に取り組み、全国各地を駆け
巡っている。問題あれば「報」
千代田区永田町一八一、(電
五八〇一七二)。

坂梨(有賀) 港 電通ラ
テ企画室(電四四四六四九
7)tribution Center (Europe)
B.V.
P.O. Box 100, Tienen (Z.
H.) 2620, Holland
中村 哲治 京都から本社
(安田火災海上保険)に帰って人
事部長。新入社員訓練が一
段落してホッとしたところ。保険
のモロモロご相談ください。(電
二二二二二二)。

西沢 章夫 うさぎのマイ
クで愛されているエッセイ製本で
研修を担当。四年目になります。
妻子二名のミニ家庭ですが、皆ん
な元気で、頑張っています。結婚
生活十四年。

西沢 博 週刊TVガ
イドに勤務。情報時代によって
仕事も好調。不惑の年も越えたの
で老化現象を防ぐため、ゴルフの
練習を始めたばかり。ハンデ36十
2。(電五七二一四九三)。

畠山(小林) 寛 八千代
倉庫勤務。物価問題の関連など
で問題にもなっている流通業の最
先端。上田市出身。横浜市西区境
の谷一〇一。(電〇四五二二二
一七六五)。

宮入 寿治 住所：太田区
池上五二〇一(電七六一
六八八)。金型製作とプレス加
工。電子部品の製作等をしていま
す。ドル・ショックに負けず頑張
っています。

宮崎 恵一郎 高崎在住。営
業第一線で活躍中。ハンドボール
OBチーム松岡会を同期の牧内清
山崎延秋などと結成。社会人大会
などOBは健康を証明。

村上 信三 広告・宣伝ソ
ールの開発・販売と約十七年。
二子ヤンネル・アイデア買いま
しゅう」などに出演中。アイデア
目「夏目」の名を高める。KK夏
目(電二九二一六三七)。

柳沢 健 英文月刊誌ピ
ジネスジャンパン(日本工業新聞
社)編集長。経済大園にふさわし
い国際誌を目指して努力中。ラジオ
「新聞・雑誌とマスコ」から足が
抜けな。 (電三二一三〇八)
若林 誠 中部電力から
電気事業連合会業務部(経団連
ビル内電二七九一三七四)に出
向中。官庁関係との接点に忙し
く。(〇)で、毎週末には、必ず「婦
宅」に入る。

原稿募集、広台募集 年会費納入について

原稿募集
一、内容 自由
一、原稿枚数 四千字程度原稿用
紙二枚以内
一、締切日 昭和四十八年九月
末日

一、原稿送先 上田市並木町
二の十二の六 矢島鏡上様内
上田高等学校同窓会 関東支部事
務局宛

一、種類 六千円、一万二千円
一、申込先 関東支部事務
局

◎会員の年会費の納入先
本会の会計事務は、未だ会計
一、原稿送先 上田市並木町
二の十二の六 矢島鏡上様内
上田高等学校同窓会 関東支部事
務局宛

一、種類 六千円、一万二千円
一、申込先 関東支部事務
局

◎会員の年会費の納入先
本会の会計事務は、未だ会計

原稿募集
一、内容 自由
一、原稿枚数 四千字程度原稿用
紙二枚以内
一、締切日 昭和四十八年九月
末日

一、原稿送先 上田市並木町
二の十二の六 矢島鏡上様内
上田高等学校同窓会 関東支部事
務局宛

一、種類 六千円、一万二千円
一、申込先 関東支部事務
局

◎会員の年会費の納入先
本会の会計事務は、未だ会計

原稿募集
一、内容 自由
一、原稿枚数 四千字程度原稿用
紙二枚以内
一、締切日 昭和四十八年九月
末日

一、原稿送先 上田市並木町
二の十二の六 矢島鏡上様内
上田高等学校同窓会 関東支部事
務局宛

一、種類 六千円、一万二千円
一、申込先 関東支部事務
局

◎会員の年会費の納入先
本会の会計事務は、未だ会計

白田 誠人 東大農学部助
教授。専門は紙の研究。バルブを
はじめ日常のトイレットペーパー
など、私達の地味な研究の成果で
す。妻一人、子二人。文京区西片
一〇一五。

大角 栄一 日本火災工業
(足立区柳原一三五、電八八二
一三七七)勤務。住所：保谷市
ひばりヶ丘三四二二七。(電
四四一四六八四九)。武
蔵野散策の折に来訪。

小本 曾 誠 一昨年「くら
しの相談室」(共著)と「環境保
全と公害防止」(共著)を出版。
千葉市幕張一丁目七七一の三
へ新築転居。行政管理局行政監察
局長が本家。

川上 道輔 住所の埼玉東
わらび市中央四二二一三(電
〇四八四一三九五九三)。八
州(〇)しき 警察長にわらび上場
長。勤務管理その他業務の多い
毎日ですが元気で。

倉石 富一郎 総合食品の倉
石商店代表取締役。業務多忙をさ
らしてボリリングに熱中。倉石出
倉石雄雄代議士は一族。大田区東
横台一四一四一七(電七四一
一七八)。

倉島 保夫 みのへ郵政の
もとで海路・公函・海運など市広
い分野で活躍中。横浜で家族一同
元氣。(電四四八四一七二六
七)勤務先：東京第一建設事務所
電話(四三三四〇七九)。

後藤(滝沢)正一 後藤製
作所(〇)四八八八五三三四
(〇)鷺野、理化学、繊維関係員
の製作・販売。公害防止関係で多
忙。

小林 芳彦 三和信用金庫
徳見支店長。(電九三四四二二
一)中小企業金融のメダリスト。娘
も早や高3。たまたまサッカーは現
役並。五月に訪日。上田高校現
役チームの一戦で活躍。

酒井 良知 日本社会党中
央本部国民生活部長。公害、物価
問題に取り組み、全国各地を駆け
巡っている。問題あれば「報」
千代田区永田町一八一、(電
五八〇一七二)。

坂梨(有賀) 港 電通ラ
テ企画室(電四四四六四九
7)tribution Center (Europe)
B.V.
P.O. Box 100, Tienen (Z.
H.) 2620, Holland
中村 哲治 京都から本社
(安田火災海上保険)に帰って人
事部長。新入社員訓練が一
段落してホッとしたところ。保険
のモロモロご相談ください。(電
二二二二二二)。

西沢 章夫 うさぎのマイ
クで愛されているエッセイ製本で
研修を担当。四年目になります。
妻子二名のミニ家庭ですが、皆ん
な元気で、頑張っています。結婚
生活十四年。

西沢 博 週刊TVガ
イドに勤務。情報時代によって
仕事も好調。不惑の年も越えたの
で老化現象を防ぐため、ゴルフの
練習を始めたばかり。ハンデ36十
2。(電五七二一四九三)。

畠山(小林) 寛 八千代
倉庫勤務。物価問題の関連など
で問題にもなっている流通業の最
先端。上田市出身。横浜市西区境
の谷一〇一。(電〇四五二二二
一七六五)。

宮入 寿治 住所：太田区
池上五二〇一(電七六一
六八八)。金型製作とプレス加
工。電子部品の製作等をしていま
す。ドル・ショックに負けず頑張
っています。

宮崎 恵一郎 高崎在住。営
業第一線で活躍中。ハンドボール
OBチーム松岡会を同期の牧内清
山崎延秋などと結成。社会人大会
などOBは健康を証明。

村上 信三 広告・宣伝ソ
ールの開発・販売と約十七年。
二子ヤンネル・アイデア買いま
しゅう」などに出演中。アイデア
目「夏目」の名を高める。KK夏
目(電二九二一六三七)。

柳沢 健 英文月刊誌ピ
ジネスジャンパン(日本工業新聞
社)編集長。経済大園にふさわし
い国際誌を目指して努力中。ラジオ
「新聞・雑誌とマスコ」から足が
抜けな。 (電三二一三〇八)
若林 誠 中部電力から
電気事業連合会業務部(経団連
ビル内電二七九一三七四)に出
向中。官庁関係との接点に忙し
く。(〇)で、毎週末には、必ず「婦
宅」に入る。

ケンブリッジ・リサーチ研究所

所長 今井 正 明 (48回)

港区赤坂1-11-45 興和第3ビル 電話532-8931(代)

入山食品株式会社

代表者 入山 一徳 (48回)

三鷹市下連雀4の7の27 電話 0422-43-4783

上田市中央一番街ショッピングセンター
本格派の紳士服

株式会社 **だいくや**

専務取締役 中村 仁信 (旧名 勝茂) (48回)

TEL 02682-3-2323

吉田製本工業株式会社

社長 吉田 耕一 取締役 黒坂 盛三 (48回)

北区 浮間2-14-12 TEL 969-4401(代)

印刷の総合メーカー

- ・企画
- ・カラー電子製版
- ・電子計算機用製版
- ・プロセス製版
- ・印刷全般

東光写真製版株式会社

代表取締役 齋藤 良助
取締役 オフセット事業部長 田村 貞夫 (48回)

板橋区板橋2-19-3 電話 962-0261(代)

富岡カメラ店

代表者 富岡 徹哉 (48回)

上田市 大屋駅前
TEL 02682-5-0115

花岡商事株式会社

社長 花岡 正人 (48回)

上田市中央5-14-2
TEL 02682-2-2300

株式会社 **伊藤商会**

社長 伊藤 伝兵衛 (旧名 修司) (48回)

上田市中央2-8-11
TEL 02682-4-3333

事務局日誌

前号の会報第八号において、事務局長の報告が、本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

第八号会報「うえだ」の郵便物の戻り

昨昭和四十七年十一月、会報第八号をお送りしたところ、次の諸氏の方で返送されてきました。

- (26) 石井公男、六川忠一郎、30
- (27) 木内徳五郎、伊藤幸男、33
- (28) 豊田泰雄、野田俊夫、推兼、三夫
- (29) 尾崎誠、37
- (30) 柳沢春彦、38
- (31) 山崎茂吉、岩下進雄、39
- (32) 中島
- (33) 一正、41
- (34) 牛島信夫、山崎千里
- (35) 丸山樹、42
- (36) 飯塚弘行、堀内博
- (37) 小坂井藤秋、吉則夫、若林
- (38) 宏一、43
- (39) 木原弘雄、田中重樹
- (40) 金子健、岩山嘉寛、田村庸
- (41) 三、45
- (42) 吉田和之、47
- (43) 工藤命、高島利雄、富原昭夫、廣沢信、堀
- (44) 昌二、小林太郎、23
- (45) 栗本武雄
- (46) 三、49
- (47) 吉村功、半田幸一
- (48) 堀まるる、25
- (49) 岡村盛太郎
- (50) 柳沢昌、48
- (51) 吉村功、半田幸一

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

が、まるで従順な小学生同様に黙々と折込んで下さったのである。ホッと解散した師走の夜、暖かな作業であった。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

住所変更者

住所変更は、なるべく、はがき等の文書で事務局へ報告して下さい。

住所変更は、なるべく、はがき等の文書で事務局へ報告して下さい。

住所変更は、なるべく、はがき等の文書で事務局へ報告して下さい。

住所変更は、なるべく、はがき等の文書で事務局へ報告して下さい。

住所変更は、なるべく、はがき等の文書で事務局へ報告して下さい。

住所変更は、なるべく、はがき等の文書で事務局へ報告して下さい。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

編集後記

若葉の候となりてふるさとの山々は新緑の香りに満ち満ちていることであろう。会員の皆様も元気で、年々一回の祭り大会の日が近づいて来ました。事務局はその準備のため多忙です。四千人からの会員の急を思えば、苦しい苦しいです。この苦しみを乗り越えて貰えるのは皆様の協力です。御協力を深謝致します。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

本号においては、引続き昨年末の主要事項から記述した。本年度より年費五百円とする案が、事務局日誌に記された。次に会報送付の件、事務局日誌に記された。

左記の会員諸氏が逝去されました

昭和四十八年三月九日、御息子海一氏のご逝去を報告いたします。

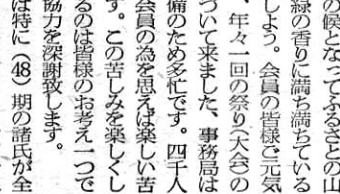
昭和四十八年四月十日、同期の故世、弘信氏のご逝去を報告いたします。

昭和四十七年十二月三日死去、昭四十七年十二月三日死去、昭四十七年十二月三日死去。

昭和四十七年十二月三日死去、昭四十七年十二月三日死去、昭四十七年十二月三日死去。

昭和四十七年十二月三日死去、昭四十七年十二月三日死去、昭四十七年十二月三日死去。

昭和四十七年十二月三日死去、昭四十七年十二月三日死去、昭四十七年十二月三日死去。



自動車総合デラー
第一種 民間車検場
車輻移動用 レッカーレーラー
製造・発売元

日本自動車株式会社

総合販売

本社：練馬区真井 4-47-43
TEL 970-5151 (4F)

営業所：文京区白山 3-1-26
TEL 815-5551 (4F)

取締役社長 小市英一
取締役 小市則夫 (54期)

輸入木材販売 (米国産材・ソ連産材・南洋産材)

石巻産業株式会社

社長 石巻貴美雄

取締役 石巻伸夫 (52期)
加々井忠三 (41期)

本社 東京都台東区根岸 2-11-6 TEL 876-2701 (4F)

支店 上田・上越・福井・松本・浜松・太田

信濃路の美酒

信州銘醸株式会社

九子町長瀬 TEL 上田5-0046

社長 滝沢市治
取締役工場長 工藤仁助 (48期)